
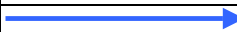






膀胱全摘除術を受ける方の入院診療計画書(2)

退院基準: ストマの管理ができる・疼痛をコントロールできる・炎症がない・創部に異常が無い

	外来及び手術前	手術前日(/)	手術当日(/)	手術当日(後)	術後1日目(
検査・治療処置	血液検査 胸部・腹部レントゲン撮影 心電図検査 肺機能検査 動脈からの採血 (血液中の酸素濃度を調べます。) 上記の検査を行います。 麻酔科の診察があります。 自己血を貯血することがあります。	輸血関連検査をします。 (輸血適合試験など) 左手に点滴の針を入れます。	朝7時頃、洗腸を行います。 リストバンドをつけます。	手術直後は15~30分毎に検温しますが、その後は、夜に1時間毎に行います。 酸素・心電図モニター・血液中の酸素濃度を測る機器を指につけます。 血液検査をします。 フットポンプで血液循環をよくして血栓を予防します。 鼻から胃に管が入っています。	体温・脈拍・血圧を11測ります。 酸素・心電図モニターは置きます。 ガーゼ交換をします。 血液検査とレントゲンがあります。 フットポンプをはずし
薬剤	普段内服している薬がありましたらお知らせ下さい。 抗生薬のアレルギーの問診をします。 	持続点滴が始まります。 下剤コップ1杯を朝10時に飲んでください。 21時に下剤2錠を飲んでください。	点滴を行います。	中心静脈にカテーテルがはいります。 痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。 手術中に背中から痛み止めの管が入ることがあります	鼻に入っている管を抜 持続点滴を行いません
安静度	普段通りの生活ができます。	病棟内自由です。	病棟内自由です。	ベッド上安静になります。 (寝返りはできません。)	歩行の許可がでます。
リハビリテーション	仰向きで深呼吸の練習をしてください。 術後の身体機能低下が予測される場合、術前より理学療法士によるリハビリテーションを開始します。			目が覚めたら深呼吸して下さい。	看護師(及び理学療法
排泄		制限はありません。	制限はありません。	尿はストマからバッグに流れます。	
清潔	入浴できます 手術の前々日は消化の良い食事になります。	手術する部位の毛を剃りお臍の掃除をします。 その後、入浴・シャンプー・爪切りを済ませてください。	油分の多いクリームをつけたり、マニキュアや化粧は止めてください。 時計、アクセサリ、入れ歯、外せるものは外してください。		回復室で体を拭き、寝に着替えます。 (看護師が行います。)
食事栄養管理		朝からは食事をとることはできません。 水分は夜0時以降はとれません。	水や食事をとることはできません。 		
説明指導教育	病棟の案内をします。 手術前後の経過について説明します。 (主治医・看護師) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"><p><手術の必要物品> バスタオル2枚、タオル1枚、腹帯3枚 前開きのパジャマ2組、下着2枚 オムツ1枚、ビニール袋1枚 洗面用具、コップと曲がるストロー 入れ歯入れ(必要時) ひとつずつに名前を書いてください。</p></div>	手術室看護師の訪問があります。 薬剤師から薬の説明があります。  眠れない時には、看護師にお知らせ下さい。 	手術室に入室する30分前 にうがいと排尿を済ませて下さい。その後回復室に入室し、手術着に着替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"><p>手術室に入室する時間(時分の予定) ご家族のかたは、手術が始まりましたら、A棟5階食堂でお待ち下さい</p></div>	術後24時間を目安に集中治療室で頻回に観察をします。 転落、転倒をさけるため、ベッドに柵をつけます。 痰は飲み込まずに出してください。 体に管が入っています。 ひっぱらないよう気をつけてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"><p>ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。看護師が案内します。 ご家族の方の面</p></div>	

この用紙は入院時に必ずお持ちください。上記内容について説明を受けました。 ご氏名

(署名)

平成 年 月 日

膀胱全摘除術を受ける方の入院診療計画書（２）

	術後4日(/)	術後5日(/)	術後6日(/)	術後7日(/)	術後8日(/)	術後	
検査・治療・処置	体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 回診時、創部の観察をします。 血液検査があります。	体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 回診時、創部の観察をします。	体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 回診時、創部の観察をします。	体温・脈拍を1日1回測ります。 回診時、創部の観察をします。創部の状態により半抜糸(鉤)をします。 血液検査があります。 尿検査があります。	体温・脈拍を1日1回測ります。 回診時、創部の観察をします。創部の状態により全抜糸(鉤)をします。 尿管の管を抜きます。(一本ずつ)	体温測り 尿管 レン検査 ストシマ	
薬剤	持続点滴があります。 	食事がとれれば点滴をやめます。 飲み薬があります。病状により終了します。					
安静度	制限はありません。	→					
リハビリテーション	看護師、理学療法師によるリハビリテーション	→				リハビリテーションは、身体機能が術前の状態に回復すれば終了します。	
排泄	ストマの管理の説明を受けてください。		ストマの管理を習得しましょう。		入浴時の注意点の指導を受けてください。	自分で	
清潔	髪を洗います	足を洗います	体を拭きます		創部の状態によりシャワー浴ができます。		
食事・栄養管理	朝食から重湯がはじまります(食事の開始は遅れることがあります。)	3分粥 	5分粥	全粥	普通食		
説明・指導・教育	体に管が入っています。ひっぱらないように気をつけましょう。 排液量が少なければ管を抜きます。	薬剤師から薬の説明があります。 				手術に提 お話 薬剤があ	